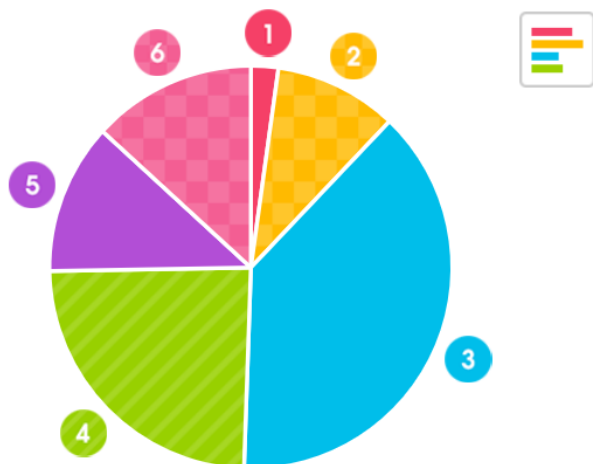


設問 2: 山陰の経済にとって、どのパターンの連携が最も重要と思われますか

- ✓ ③事業者⇔DMO が最も多く、“ビジネス視点”で“継続的に”、地域が“稼げる体制”整備への期待が大きい
- ✓ ④～⑥の「地域住民⇔●●」の連携の重要性を感じている方が多く、“地域住民の関わりがなければ継続しない”、“地方創生の主役は地域住民であり、それぞれの地方自治体・事業者とのつなぎを DMO が担っていくもの”と認識されている方が多い。



回答者: 91 人

【人(%)】

●自由記述(原文、無回答は省略)

①	<p>国の支援をダイレクトに DMO に!どんと、ふんだんに!</p> <p>この点で山陰インバウンド機構は多くのアドバンテージを得ている。</p>
②	<p>事業の重複、無駄の無い連携が必要</p> <p>DMO から市町への協力依頼が必要。市町から地域住民へ呼び掛けてもらう。</p>
③	<p>ひとつで括れるモノでもないと思う。</p> <p>継続性を前提とした事業として実際に観光客にサービスを提供する事業者と事業者を結ぶハブ機能として DMO がリーダーシップとサポートシップを発揮すべきと考えるため</p> <p>事業者のアセット活用が有益なので</p> <p>まずは、地域が稼げる動きを作り出すスターターの機能が必要であるため</p> <p>DMO が力を最大限に発揮するための、必須連携と思います。</p> <p>ボランティアレベルでは、継続性に問題が生じる場合も多々あります。収益、雇用を創出して地域をいかに発展させていくかが重要だと思います。</p> <p>事業者の自主自立の意識改革が重要。</p> <p>今までにない取組が出てきていると思うから。</p> <p>事業者を本気にすることが必要と考えます。</p> <p>時間を買ってでも進める切迫感が必要ではないか。</p> <p>受入体制の整備が肝要。</p> <p>行政ではスピードが遅い。</p> <p>ビジネス視点が重要。</p> <p>事業者の思いがどれだけ吸い上げ、上手くまとめられるかが鍵だと思う</p> <p>公に任せろのではなく、事業者が商業ベースでの成功を DMO と連携して考えて行くべき</p> <p>まずは事業者が儲けることが必要。その後住民に広げて行く。</p> <p>官民一体と同様、DMO 事業者一体で進めないといけないと思う。</p> <p>地元自治体はヤル気がないため。地域を代表する企業は、ネームバリューがあるので、話が早い。</p> <p>地元事業者の考えを聞いて、取組を進めていくことが大事だと思います。</p>

	事業者が自治体に依存し過ぎると思うので、自立するための一歩!
	県や市の境を超えると柵がどうしても出てくる、それに対応できるのが DMO と考えるから。事業者に関わらず、自治体・行政・団体もそう。
	稼ぐためには、重要
	稼ぐ意識の最も強い連携
	山陰は民間の力も強いので、その力を DMO が上手く繋げて成果を出す
④	アイデンティティーの醸成
	その地域の間人が立ち上がり、する事業でなければそれは意味をなさない。
	山陰はローカルエリアの象徴。地域側の住民が生活の中で観光をどのように捉えることができるかが大切だと思います。
	やる気のある人材は、必ずしも事業者に所属していないことも多い。事業者の有望な人材は副業が禁止されていることもある。自分ごとで考えている個人のやる気を DMO が拾うべきだと思います。
	地域住民の理解に基づかない活動は、継続しない
	色々な意味で、地元愛に溢れている人が多いから。
	地域住民を巻き込んでいけないと継続できないのでは
	地域住民のやる気と DMO が合わさって初めて機能する仕組みだと思うので。
	住民が日頃の生活に少しの上乗せで参画することが大切
	分かりやすく展開する力が必要
	地域をつくっている、そこに住む住民との連携がないと盛り上がらないし、継続性がなくなってしまうから。
	地域振興まで含んだ地域の方々のマインドシフトが一番重要かと。
⑤	地域情報を網羅的に把握しているのは地方行政。行政の理解と協力なくして持続性を担保できない。
	身近な自治体
	実際の担い手は住民、適切なリーダーシップと広聴は自治体という役割分担
	基礎自治体の未来の姿を共に描いて、一緒に進んでいくことが重要だと考えるから
	地域をまきこんでの盛り上がり
	住民だけの力では限界がある。
⑥	稼ぐ連携の要素は、マーケットにそもそもあり、マーケットとのコミュニケーションを強化する主体者の考えが重要。
	事業者と地域住民は、自立が重要。自治体や DMO は後方支援を。
	地方創生とはまさにそういうものだから
	そのレベルからやるべきだと思うから。
	DMO はまんなか、手段。結局は事業者と地域住民が円滑に協力し儲けにつなげてほしい。
	観光の利益は事業体と地元民が連携し根付くのでは。
	DMO は主体ではなく、つなぎ役。6 を選んだけど、ほんとは 56 の組合せ
	地域住民を巻き込むことが 1 番難しいと感じるため
	地域として、観光の必要性を感じている人は少ないと思います。なぜなら、そこに地域の方々の生活があるからです。出来れば静かに暮らしたいと考える方々多い事も現実としてあります。